



東京オフィス所長 齋藤 健治氏

—抗ウイルスや熱中分野の増減は、こうした単に広い特許を取得でき性がある。そういう状況られていかなかった素材の症、筋肉増強など、社会的現象やニーズの影響を反映されている印象を受けることも多い。野は、宣伝や技術の訴求願することが正解かは未合は、広く権利化するこ

—注目が集まっている方法、売り方が販売量に知数だ。例えば、消費者とが可能な。しかし、その減や、より開けやすい容許の効力が薄まってしま

—では、どのような方を権利化する価値は高れられにくい点が、食品の難しさといえる。齋藤 元々、使用でき

「食品分野の特許出願」の着眼点

求められる「総合的」なアピール

—完成度が一つ大き — 冷凍食品やレトルト食品の出願動向はいか

—冷凍食品やレトルト食品の出願動向はいか

—冷凍食品やレトルト食品の出願動向はいか

機能性表示食品など健康増進に関する食品素材や、注目が集まるト

—冷凍食品やレトルト食品の出願動向はいか